

# マイクロライトレースロボット競技 決勝トーナメント運営規定

周回走行時間の上位8台のマイクロライトレーサは、以下に示す規定によって運営される決勝トーナメントに出場し、その成績によって最終的な順位を決定する。

## 1. 組み合わせ

決勝トーナメントの組み合わせは、1次予選と2次予選の周回走行時間等を考慮して、マイクロロボット高校生大会実行委員会が決定する。組み合わせやトーナメント表等は、決勝トーナメント開始までに全出場者に適宜通知する。

## 2. 決勝トーナメントの運営

- 2-1 決勝トーナメントは2台の競技台（Aレーン、Bレーン）を用いて1戦ずつ進行される。1回戦、2回戦（準決勝）、3回戦（決勝）では全て異なるコースが用いられ、トーナメントが進むにつれてコースの難易度が徐々に高くなっていく。
- 2-2 競技は、2台のマイクロライトレーサによる競走形式で行われ、コースを1周のみ走行させたときの先着機を勝者とする。
- 2-3 決勝トーナメント出場的全操作者はコース発表前にマイクロライトレーサを持参のうえ、ステージ上に集合し、決勝トーナメント終了までステージ上に留まるものとする。ステージ登壇前であれば、プログラムの変更を行ってもよいが、登壇後は改変禁止とする。登壇後は電池交換を含む軽微な修理を行うことは可能であるが、PICの交換は認めない。その際、操作者以外の者からサポートを受けることは可能とする。
- 2-4 あらかじめ通知されたトーナメント表に従って審判が呼び出しを行う。呼び出しを受けた操作者は直ちに指定の競技台に向かい、マイクロライトレーサの準備を行う。審判の呼び出しに応じない操作者のマイクロライトレーサは不戦敗とする。
- 2-5 両操作者の準備終了を確認次第インタビュアーはマイクロライトレーサの説明を求める。マイクロライトレーサーの工夫点などを簡潔明瞭に説明する。両操作者のインタビュー終了時点で審判がマイクロライトレーサーの最終準備を指示するので、それまでは自分のマイクロライトレーサーに触れてはならない。最終準備に与えられる時間は1分以内とし、準備が完了した時点で審判に合図（声をかける・手を挙げるなど）をする。競技開始は審判が準備を指示してから1分後か、両操作者が準備完了の合図を審判に送った時点の早い方とする。
- 2-6 審判は、競技開始時間になると「これより競技を開始します」と宣言し、「位置について下さい」とマイクロライトレーサのスタート操作を促す。審判は両操作者が競技台についたのを確認すると直ちに「用意、スタート！」とスタートの合図を出す。フライングをした場合は再スタートを命じられる。
- 2-7 「マイクロライトレースロボット競技 競技規定」に定める「コースアウト」をした場合は審判が「コースアウト」を指示するので、スタート・ゴールエリアから再スタートしなければならない。また、操作者は審判の指示、または走行中止の許可がない限りスタート・ゴールエリア以外を走行中のマイクロライトレーサに触れてはならない。
- 2-8 2台のマイクロライトレーサがともにスタート後3分以内に1周できなかった場合は2分間延長し、先着機を勝者とする。スタート後5分以内に両者ともに1周できなかった場合は、両者ともに不戦敗とする。